

「沿岸域工学の基礎」 正誤表

ページ	行数等	誤	正
P.10	式 (2.2)	$\eta(x,t) = \left[\frac{1}{g} \frac{\partial \phi}{\partial t} \right]_{z=0} = \dots$	$\eta(x,t) = \left[-\frac{1}{g} \frac{\partial \phi}{\partial t} \right]_{z=0} = \dots$
P.21	2 行目	O.P. : Osaka Peel	O.P. : Osaka Peil
P.30	最下行	たとえば, $U = 20 \text{ km}$	たとえば, $U = 20 \text{ m/s}$
P.31	2 行目	時間が短く, $U = 20 \text{ km}$	時間が短く, $U = 20 \text{ m/s}$
P.32	3 行目	レーザー	レーダー
P.33	1 行目	$H_{1/n}$ を有義波高, 周期 $T_{1/n}$	$H_{1/3}$ を有義波高, 周期 $T_{1/3}$
P.33	14 行目	1/n 最大波は未超過確率	1/n 最大波は超過確率
P.33	最下行	図-4.3 の縦軸名 $P(x)$	図-4.3 の縦軸名 $p(x)$
P.33	最下行	図-4.4 波高の未超過確率関数	図-4.4 波高の超過確率関数
P.44	13,14,15,16 行目	水深 15m	水深 5m
P.51	20 行目	文献 36), 37)	文献 38), 39)
P.61	5 行目	$D/L < 0.2$	$D/L > 0.2$
P.63	1 行目		1 行目の文末に以下を追記 「構造物の自重は 7500 kN とする。」
P.79	下から 6 行目	沿岸方向成分 P_l (N/s, Watts)と等しい	沿岸方向成分 P_l (N/s, Watts)に比例する
P.79	下から 5 行目	$(\rho_s - \rho)g(1 - \lambda)q_l$ $= K(EC_g)_b \sin \alpha_b \cos \alpha_b$	$(\rho_s - \rho)g(1 - \lambda)q_l = KP_l$ $= K(EC_g)_b \sin \alpha_b \cos \alpha_b$
P.97	11 行目	目的と機能は突堤と同じである。	目的と機能は堤防と同じである。